

このことについて、下記のとおり「麦作情報（第1号）」について送付しますので、業務の参考にしてください。

令和6年産麦作情報（第2号）

1. 気象の概要（1月23日～2月13日までの気象、平年と比較して）

平均気温…0.7℃高い。

降水量……やや多い。（平年比 101.9%）

日照時間…やや少ない。（平年比 97.4%）

2. 麦類の生育状況

農試情報田の調査結果（2月9日付け 麦づくり情報第2号）

品種	播種期 (月/日)	年次	草丈 (cm)	茎数 (本/m ²)	葉齢 (L)	葉色 (SPAD)	概況 (平年・平均と比較して)
シロガネコムギ	11/20	本年	24.3	704	6.3	47.3	[気象] 1月18日～2月8日まで ◆平均気温…平年より1.7℃高い ◆日照時間…少ない(平年比70%) ◆降水量……多い(平年比158%) [生育] ◆草丈 全品種・全作期とも高い。 ◆茎数 12/8 シロガネコムギは平年並み。 その他は多い。 ◆葉齢 11/20 シロガネコムギでやや進んでいる。その他は進んでいる。 ◆生育ステージ(次頁参照) ◆幼穂長及び節間長(次頁参照)
		平年	21.7	707	5.9	45.4	
		平年差(比)	112	100	+0.4	+1.9	
	12/8	本年	16.2	570	4.9	51.4	
		平年	13.2	426	4.3	48.1	
		平年差(比)	123	134	+0.6	+3.3	
サチホゴールデン	12/1	本年	21.2	1235	6.3	45.3	
		3ヶ年平均	13.4	730	5.0	43.6	
		平年比(差)	158	169	+1.3	+1.7	
	12/8	本年	17.8	1088	5.2	47.3	
		平年	12.8	555	4.1	42.9	
		平年比(差)	139	196	+1.1	+4.4	
はるか二条	12/1	本年	19.4	1034	6.1	49.9	
		3ヶ年平均	12.6	755	4.7	49.7	
		平年比(差)	154	137	+1.4	+0.2	
	12/8	本年	17.4	794	5.1	51.0	
		6ヶ年平均	12.4	511	4.0	46.8	
		平年比(差)	140	155	+1.1	+4.2	

農試情報田の生育ステージ

品種	播種期 (月/日)	年次	幼穂形成始期 (月/日)	節間伸長開始期 (月/日)	茎立期 (月/日)	出穂期 (月/日)
シロガネコムギ	11/20	本年	1/26	未	未	未
		前年	1/29	2/16	2/18	3/27
		平年	2/2	2/19	2/19	3/29
	12/8	本年	未	未	未	未
		前年	2/20	3/7	3/8	4/2
		平年	2/22	3/4	3/7	4/6
サチホゴールデン	12/1	本年	1/29	未	未	未
		前年	2/11	2/24	3/4	3/30
		平年	2/8	2/25	3/4	3/28
	12/8	本年	2/2	未	未	未
		前年	2/12	2/28	3/9	4/3
		平年	2/12	3/2	3/4	4/2
はるか二条	12/1	本年	1/29	未	未	未
		前年	2/11	2/24	3/3	3/29
		平年	2/8	2/24	3/3	3/27
	12/8	本年	2/1	未	未	未
		前年	2/10	2/26	3/6	4/2
		平年	2/13	2/28	2/24	3/31

▼三神管内の調査結果（調査日：2/8 シロガネコムギ・はる風ふわり、2/9 はるか二条）

場所	品種名		播種日	苗立ち数 (本/m ²)	草丈 (cm)	茎数 (本/m ²)	主稈 葉数(L)	備考 (平年と比較して)
上峰	シロガネコムギ	本年	11/26	125	30.9	755	6.1	・平年の播種日は11/15～12/8 ・草丈は高く、茎数は多い。 ・葉齢は進んでいる。 ◆幼穂長 1.4mm、節間長 8.5mm
		平年	11/27	158	15.8	452	4.6	
		平年比(差)	-1	79	196	167	+1.5	
吉野ヶ里	はる風ふわり	本年	11/23	78	20.7	426	6.7	・平年の播種日は11/15～11/19 ・播種量が少なく、苗立ち数が少なかった。 ・茎数は少ない。 ・草丈はやや高く、葉齢はやや進んでいる。 ◆幼穂長 1.5mm、節間長 5.1mm
		3ヶ年平均	11/17	131	19.9	837	6.6	
		平均比(差)	+6	59	104	51	+0.2	
鳥栖	はるか二条	本年	11/25	139	14.8	583	5.8	・平年の播種日は11/20～27 ・草丈は低く、茎数はやや多く、葉齢はやや進んでいる。 ◆幼穂長 1.7mm、節間長 3.3mm
		4ヶ年平均	11/22	113	17.2	563	5.6	
		平均比(差)	+3	123	86	104	+0.2	

注1) 「シロガネコムギ」の平年値は、H25～H29及びR4～5の7ヶ年のうち、収量が最高値と最低値の年を除いた5ヶ年の平均。

注2) 「はる風ふわり」平年値は、調査を開始したR3年産から3ヶ年の平均値。

注3) 「はるか二条」平年値は、調査を開始したR2年産から5ヶ年の平均値。

注4) 幼穂長及び節間長は、主計及び生育旺盛な分けつ2本の計3本を計測した平均値。

概況

- ・平年より気温が高く推移していることや、1月下旬からの降雨の影響により、草丈は平年より高く、分けつの発生も旺盛となっている圃場が多い。
- ・11月中旬に播種された小麦では、現在7～8葉期となっており、早いところでは、茎立ちしている圃場も見受けられる。

3. 今後の管理

穂肥

- 本年の生育は、平年より進んでいることから、2月中下旬頃から施用する。ただし、麦踏みと同時に施用する場合、茎立ち期前までに実施する。
- 茎立ち期を迎えた圃場では、麦踏みと同時に施用は避け、動力散粒機やブロードキャスター等で全面散布を行う。その場合、施肥量を基準より1割程度増やす。
- 肥効を高めるため、穂肥後に土入れを行うとより効果的である。
- ビール大麦は、品質基準（粗タンパク質：10～11.0%）を満たすため、下記表を参考に穂肥を施用する。

（参考）サチホゴールデンの穂肥診断基準（農試）

（窒素成分 kg/10a）

		2月の降水量(mm)		
		40	80	120
3月上旬の葉色(SPAD)	38	1.8	—	—
	40	1.2	—	—
	42	0.6	4.2	—
	44	—	3.6	—
	46	—	3.0	—
	48	—	2.4	—
	50	—	1.8	—
	52	—	1.2	—
	54	—	0.6	4.1
	56	—	—	3.5

・子実タンパク質含有率の目標値
10%

・3月上旬の茎数
900本/m²
(仮定)

麦踏み（3葉期以降）

- 麦踏みは、土壌が乾燥した状態で行う。
土壌水分が高い時に行うと土が締まり、湿害を助長するとともに排水性が悪くなる。
- 麦踏みの晩限は、茎立ち期（節間長2cm・草丈約25cm程度）前までである。
茎立ち期以降の麦踏みは、初期分けつが折れ、穂数の減少や倒伏抵抗性が低下するため実施しない。

【麦踏みの効果】

①耐寒性向上 ②根量増加 ③短稈多分けつ型への誘導 ④早立ち防止で凍霜害回避

土入れ（5葉期以降）

- 土入れは、土壌が乾燥した状態で行う。
土壌水分が高いときに土入れを行うと、土塊が大きく麦が埋まり土から出てこなくなる。
- 雑草防除と排水対策もかねて、圃場の条件をみながら計画的に土入れを実施する。
- 分けつ初期に土入れが多いと、分けつを抑制することがあることから、土入れの量は、基本的に生育初期は少なめに、生育が進むにつれて量を増していく。
- 播種量が多く苗立ち数が多い圃場では、例年より土入れを1～2回増やして過剰分けつを抑制する。※過剰分けつは、細莖化を招き倒伏に弱くなる。

【土入れの効果】

①防寒 ②保肥力増大 ③倒伏防止 ④無効分けつ制御 ⑤雑草防除 ⑥排水促進

排水対策

- 本年は播種～現在まで、積算の降水量は少ないものの、定期的に降雨が見られており、今後は降水量が増えることが予想される。
- 今後の降雨に備え、土入れに加え、まくら地の排水溝を整備し、圃場内の水を早く排水できるように整えておく。
- 特に、トラクターカルチで土入れを実施する場合には、排水不良（うね溝の停滞水が多くなる）となりやすいので、うね溝と排水口とをつなぐように徹底する。

雑草対策

- 雑草の発生が目立つ圃場では、雑草の種類や生育状況を確認し、時期を逸しないように生育期処理剤（茎葉散布）を処理する。

（注意）

麦踏み：麦踏前後の除草剤散布は薬害を助長するため避ける。

土入れ：土入れを除草剤散布後に行うと、雑草の蒸散作用が抑制され有効成分の根部吸収が妨げられるので控える（特にステージの進んだ雑草の場合、十分間隔をあける。）

～麦圃場でよくみられる雑草（広葉）～



ミチヤナギ



トゲミノキツネノボタン



アメリカフウロ



ノミノフスマ



イヌタデ



ヤエムグラ



カラスノエンドウ



カズノ生育当初は、両雑草とも根の色が白色だが、生育が進むとカズノコグサの根は「白色」で、スズメノテッポウの根は「赤褐色」となるため判別可能。

（農薬メーカー資料から抜粋）

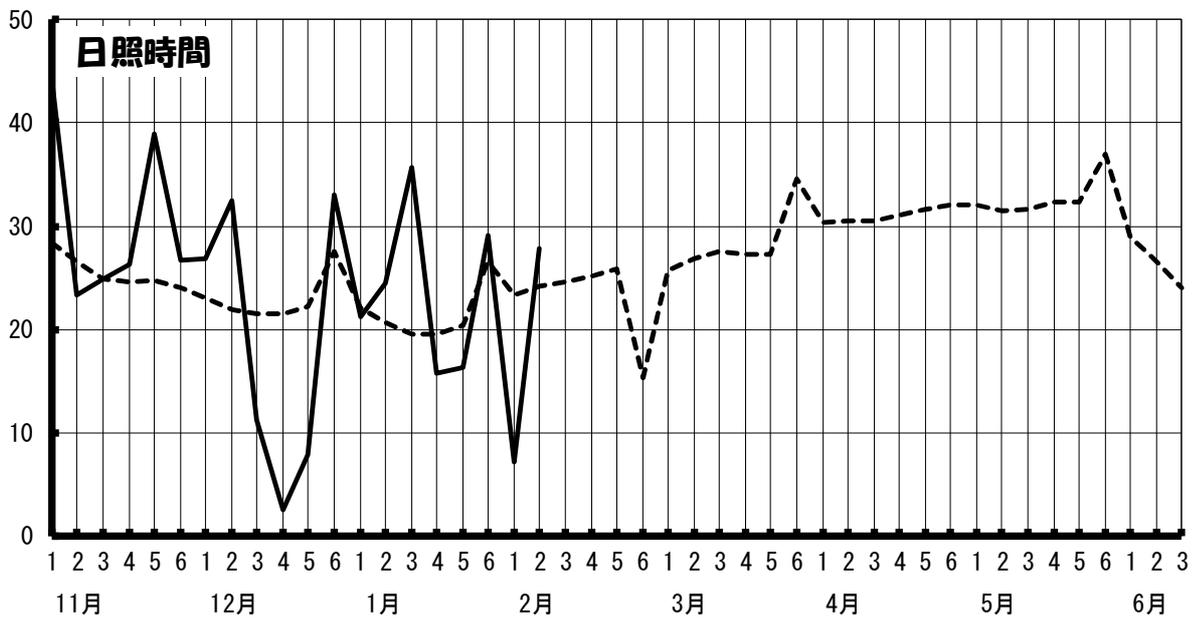
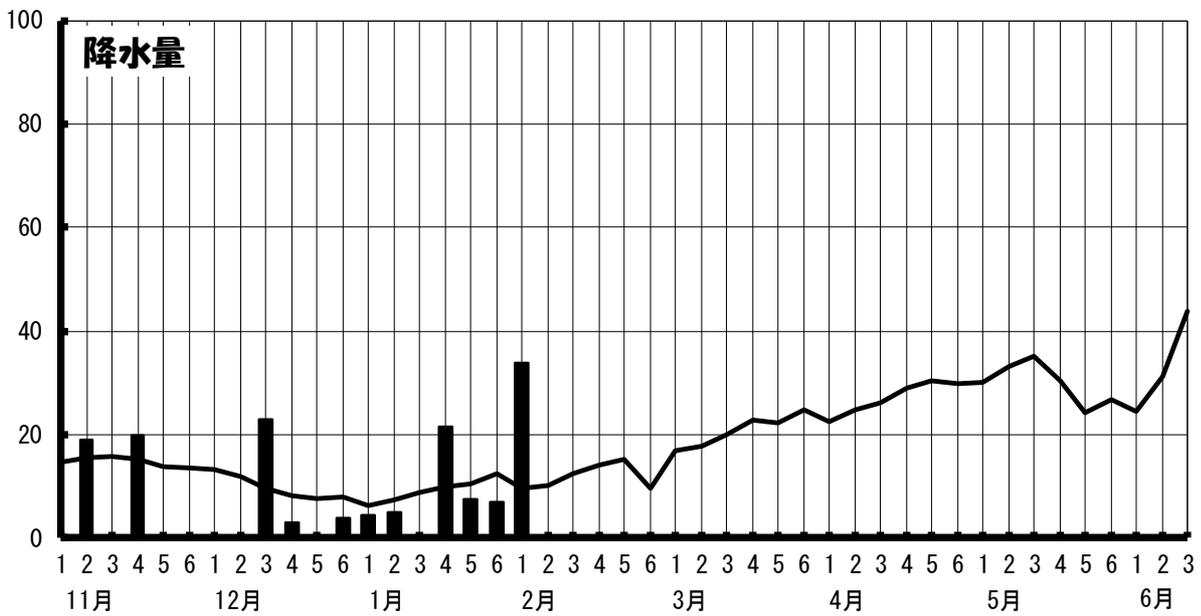
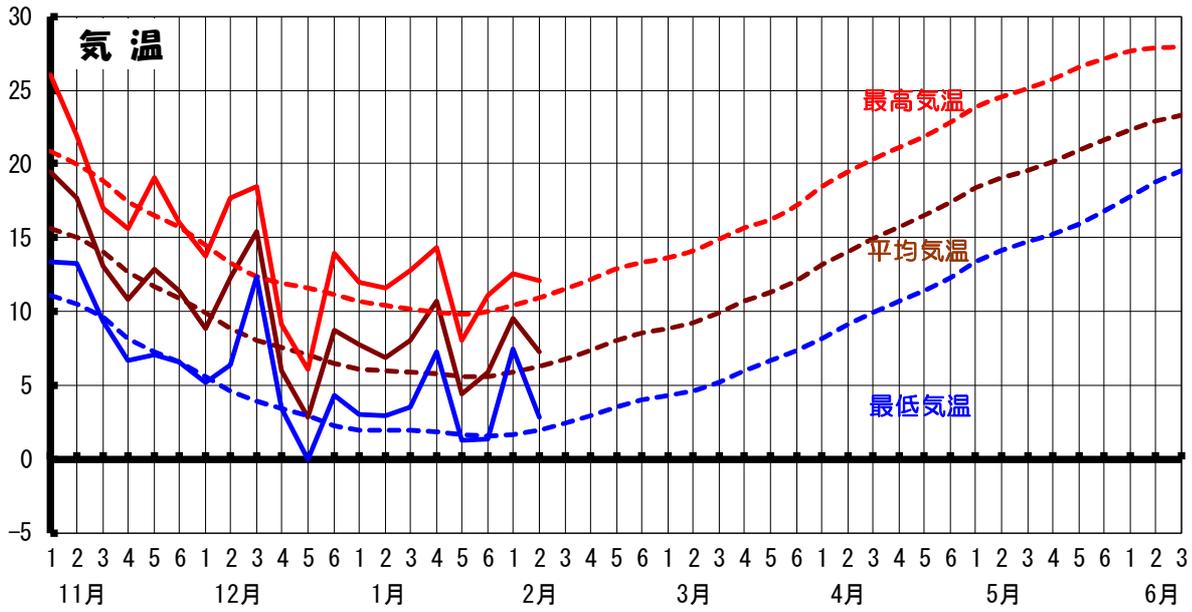
生育期除草剤 使用例

農薬名	有効な雑草	使用量	希釈水量	使用時期	総使用回数
		10aあたり			
ハサグラン液剤	一年生雑草 (イネ科を除く)	100~200ml	70~100L	雑草 3~6 葉期 小麦：収穫 45 日前まで 大麦：収穫 90 日前まで	1 回
ハーモニー75DF水和剤	一年生広葉雑草 スズメノテッポウ カズノコグサ	5~10g	100L	播種後~節間伸長前 (スズメノテッポウ：5葉期まで) (カズノコグサ：1~3葉期まで) 小麦のみ 播種後~穂ばらみ期まで 収穫 45 日前まで	1 回
	<p>ハーモニー75DF水和剤使用上の注意点</p> <ul style="list-style-type: none"> • 播種後にハーモニー細粒剤Fを散布した圃場は使用不可 • 薬害が生じ易いので周辺作物に注意 • 使用器具の洗浄をよくし、他作物との併用はしない • サーフアクタント30との併用を推奨 <p>一年生広葉雑草の例 ミチャナギ、タデ類、トゲミノキツネノボタン、アメリカフウロ、ノミノフスマ (ヤエムグラ、カラスノエンドウには効果が弱い。)</p>				

R6年産麦類生育期間気象グラフ

アメダス観測値（佐賀）

三神農業振興センター



グラフ中の点線は平年値